第１０回マイタウン・バス南部線河辺地域運行協議会議事要旨

開　催　日　時　　平成２８年２月７日（日）　午後１時３０分～２時３５分

開　催　場　所　　河辺市民サービスセンター　地域文化ホール

委　員　定　数　　１３人

出　席　委　員　　１２人

次　　第　　１　開会
２　委員紹介
３　会長の選出
４　会長職務代理者の選出
５　議事
６　その他（ダイヤ改正について）
７　閉会

議　　事　　議事(1) 台地区への路線延伸について
議事(2) 利用実績について

事　務　局　　ただ今から第１０回秋田市マイタウン・バス南部線河辺地域運行協議会を開催する。

本日の協議会は、平成２７年度に入り最初の協議会となる。昨年５月末をもって前委員の任期が満了となり、今回の協議会からは新しい委員となっていることから、委員の皆様を紹介する。

（委員紹介）

本日の協議会は委員１３名中、委員の過半数である１２名の出席をいただいていることから、秋田市マイタウン・バス南部線運行協議会設置要綱第５条第２項により会議が成立することを報告する。

なお、１名の委員については、本日所要により欠席される旨の連絡をいただいている。

開会にあたり、交通政策課長よりあいさつ申し上げる。

（交通政策課長あいさつ）

続いて、次第３、会長の選出を行う。
会長については、設置要綱第４条第２項の規定により、委員の互選により定めることとなっているが、いかがか。

委員の皆様から特にないようなので、事務局から、本協議会の会長を提案するが、いかがか。

委員一同　（異議なし）

事務局　（会長選任）

ここからは、設置要綱第４条第３項の規定により、会長に議長となっていただき、会の進行をお願いする。

会長　次第４に入る。
会長職務代理者については、設置要綱第４条第４項において、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理することとなっていることから、私から指名する。

（会長職務代理者選任）

次に、次第５について、事務局に説明を求める。

事務局　（説明）

会長　ただいまの説明に対し、質問等はあるか。

委員　台地区への延伸は、定時定路方式にはできないのか。

事務局　定時定路方式だと便数を減らさなければならなくなる。

委　　員	買物や通勤通学など、バスの利用目的を把握出来れば、より利便性の向上につながるのではないか。
委　　員	通勤通学での和田駅への利用や、通勤や買物でのイオンまでの利用、大学病院への通院など、ある程度は運転手が把握しているが、後ほど主だった目的などについて調査することとしたい。
委　　員	利用目的がわからないとニーズに合った運行について考えにくいと思う。 また、予約式において、「１人だけで予約するのは申し訳ない」ということで遠慮しているケースもある。
事　務　局	利用者ニーズについて、どのような形でやるかということはあるが、アンケートの実施について検討したい。
委　　員	平成２４年にも要望しているが、神内、坂本を経路とする路線を設置してほしい。羽後交通が撤退してから空白地域になっている。
委　　員	既存コースの空いている時間帯を活用して新規に運行できればよいが、難しいと思う。 Ａコースの減便も含めての検討になると思うが、今後検討する。
委　　員	台地区における運行開始はいつか。
委　　員	平成２８年４月１日からの運行を目指したい。
会　　長	次第６のその他として何かあるか。
事　務　局	後日、ＪＲのダイヤ改正に伴うマイタウン・バスのダイヤ改正を行う予定であるので、運行協議会の書面開催も含めて、改めてご協議願う。 また、以前に出されていた要望に対する検討結果を報告する。 Ａコースの日赤病院へ行く便に乗り継ぎできるＢコースの１便と４便を予約式から定時定路にする要望については、現在の運行時間では、定時定路のようにすべてを巡回することができないことから、こ

れまでどおり予約式とする。
　マイタウン・バス河辺Ａコース上り２便において、イオンモール秋田から秋田駅西口行きの路線バスへの乗り継ぎが３８分待ちで長いので改善してほしい、という要望については、東口行きが１４分待ちであることからダイヤ改正は行わないことで、要望された委員から了承をいただいた。
　最後に、河辺Ａコース下り２便と６便を山根地区を経由する路線に変更する要望については、道路状況および冬期間の運行を考慮すると困難であることから、要望後に実施したフリー乗降のご利用で了承願う。

会　　長　　ほかになければ、私からお願いがある。
　先ほど他の委員からも話が出たが、予約することを遠慮してためらってしまう方がいるので、せっかくの良い制度であるので、市の方でも、遠慮は不要である旨のＰＲを行ってほしい。
　また、「運転手に怒られた」という利用者の話をよく聞くので、互いの誤解もあることとは思うが、配慮してほしい。

委　　員　　マイタウン・バスを積極的に利用していただくよう、ＰＲしていく。

委　　員　　引き続き、運転手の指導を徹底していく。
　自分は全く怒っていなくても、利用客側が「怒られた」と感じる場合もあるということも含め、適切な応対に努めていく。

事　務　局　　第１０回秋田市マイタウン・バス南部線河辺地域運行協議会を閉会する。